

121) 片思い

せつない恋の風ぐるま まわりだしたよゆっくりと

^{とき}時間の流れに身をまかせ 風の方を追いかけた

^{たそがれ}黄昏せまる風の道 アザミの刺が突き刺さる

せつない恋は風まかせ 誰も知らない片思い

風に吹かれて恋心 心の奥で燃え上がれ

大地の砂を巻き上げて 炎のように燃え上がれ

風が止んだら恋心 声をひそめて泣くがいい

さらば恋人わが^{いのち}生命 いずれの日にかまた逢わん

せつない恋の風ぐるま ぐるぐるまわれ永遠に

季節がいつも人々に 優しい風をおくるよに

海を渡ってこの心 ^{いと}愛^{ひと}しき女に伝えてよ

せつない恋は風まかせ 誰も知らない片思い

^{さかま}逆巻く風よ吹きまくれ 逆巻く風よ我に來い

せつない恋は風まかせ 誰も知らない片思い

→